

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2010-79660(P2010-79660A)

【公開日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2008-248165(P2008-248165)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/044 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 3 3 0 A

G 06 F 3/041 3 5 0 A

G 06 F 3/041 3 3 0 D

G 06 F 3/044 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月16日(2011.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに対向する面のうちの一方の面に開口部が設けられた筐体と、
前記開口部に嵌着された保護板と、
画像が表示される画面エリアを有し、前記保護板を介して前記画面エリアが視認可能な
ように前記筐体に組み込まれた表示パネルと、
前記筐体における前記互いに対向する面のうちの他方の面上に装着された静電誘導型のタ
ッチパネルと、
を備えることを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記筐体は、前記保護板を視認可能なエリアの面積及び形状が前記タッチパネルを視認
可能なエリアの面積及び形状に対して等しくなるように形成されていることを特徴とする
請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記タッチパネルは、前記画面エリアと同じ形状の入力エリアを有していることを特徴
とする請求項2に記載の電子機器。

【請求項4】

前記タッチパネルは装飾されていることを特徴とする請求項3に記載の電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項1に記載の発明に係る電子機器は、互いに対向する面のうちの一方の面に開口部
が設けられた筐体と、前記開口部に嵌着された保護板と、画像が表示される画面エリアを

有し、前記保護板を介して前記画面エリアが視認可能なように前記筐体に組み込まれた表示パネルと、前記筐体における前記互いに対向する面のうちの他方の面に装着された静電誘導型のタッチパネルと、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項2に記載の発明は、前記請求項1に記載の電子機器において、前記筐体は、前記保護板を視認可能なエリアの面積及び形状が前記タッチパネルを視認可能なエリアの面積及び形状に対して等しくなるように形成されていることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項3に記載の発明は、前記請求項2に記載の電子機器において、前記タッチパネルは、前記画面エリアと同じ形状の入力エリアを有していることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項4に記載の発明は、前記請求項3に記載の電子機器において、前記タッチパネルは装飾されていることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】